

令和6年度 学校関係者評価表

令和7年8月18日

学校名：名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校

学校目標			
<p>(1) 本学園の建学の精神は「社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、英知と勤勉な国民性を高め、科学技術・文化の発展に貢献する」である。それに基づき、校訓である「国際性・積極性・協調性」を教育信条にして知識・技術・態度を養うことで、社会の一員にふさわしい資質を育てる。</p> <p>(2) 本校の学生たちは、航空業界、ホテル業界、ブライダル業界などサービス業界への就職を目指している。それらの業界で求められる基礎知識、および専門知識を十分に教授する。また、グローバル社会に対応できる英語運用能力と国際人としてのマナー、豊かな創造力と応用力のある人財を育成する。</p> <p>(3) 本校は“ホスピタリティ教育”を軸に、社会の情勢、変革などを見極めながら毎日の学校生活の中で「建学の精神」を指導、実践する。特に企業から歓迎される「人柄」、つまりチームにおける協調性や、組織に対する貢献を強く意識できる人財を育てる。</p>			
学校自己評価報告書についての評価			
基準ごとに次の3点について 4段階で評価してください	自己評価の結果が適切か 4：適切な評価である 3：ほぼ適切な評価である 2：やや不適切な評価である 1：不適切な評価である	改善に向けた実際の取組みが適切か 4：十分適切な取組みである 3：ほぼ適切な取組みである 2：あまり適切とはいえない取組みである 1：適切とはいえない取組み	今後の改善方策が適切か 4：十分な効果が期待できる 3：ほぼ十分な効果が期待できる 2：あまり効果が期待できない 1：効果は期待できず、改善を要する
基準1（教育理念・目標）	3.9	3.8	3.7
基準2（学校運営）	3.8	3.7	3.5
基準3（教育活動）	3.7	3.7	3.7
基準4（学修成果）	3.8	3.3	3.3
基準5（学生支援）	3.8	3.7	3.7
基準6（教育環境）	3.8	3.8	3.7
基準7（学生の受入れ募集）	3.9	3.9	3.8
基準8（財務）	4	4	3.9
基準9（法令等の遵守）	4	4	3.5
基準10（社会貢献・地域貢献）	3.9	3.9	3.7
基準11（国際交流）	3.5	3.4	3.3

今後の改善方策について、お書きください

- ・娘2人がエアライン科とホテル科に通っているが、話をいろいろ家で聞いているが、先生達の取り組みは一人ひとりを見ているな、と思う。
- ・オープンキャンパスでは、生徒達が学生を迎え入れ説明をし率先して取り組むことでチームワークやプロジェクトへのやりがいの勉強にもなる。
- ・各科の企業説明もあり、インターンでお金を稼ぐ大変さを知り、成功した先輩の話も聞け、未来へ向け目標やビジョンも見える。
- ・先生方の経験や親密に相談にも乗り、一緒に頑張る楽しさ大変さを知り、新たなスタートが切れるので、私はこのまま続けてほしいので、今のところ改善する事があるのかな
- ・教育目標の達成に向けて、非常勤講師とのカリキュラムポリシーの共有を確実にしようとしています。これは大切なので、ぜひ進めていただきたい。
- ・英語力の高い学生は恐らくモチベーションも高い。理念も伝えやすい。低学力の学生の対策が非常に大切ですが、授業の分かりやすさ、楽しさ、伸びの実感などへの教員の取り組み求められます。今回、非常勤講師も含めて学内研修を進められていることは大変評価できると思います。
- ・「英語を学ぶ」から「英語で学ぶ」「英語を使う」への転換は大賛成です。しかしこれはかなり専門性の高いカリキュラム改善が必要です。教員研修が要ります。
- ・自己評価の自己とは各科の正規教員または科の長によるものですか。PDCAサイクルを仮にあてはめてみますと。各科がそれぞれ独自に評価しないと真の姿は見えにくいのではないと感じました。各科の出口、ゴールが具体的にそれぞれ異なっているからです。多様な学生のニーズに応じて組み立てられている貴校のカリキュラムや結果の評価は、各科ごとに実情より実態に即したものになり、より良い改善策が見えやすくなると感じます。英語科の出口＝ゴールについては、「今後の姿」を特に考えていく時期かもしれません。
- ・退学率の低減に向けて、第三者またはWebアンケート等でEXITインタビューを行うことで、学生から退学の真因を確認できると良いと感じた。
- ・学生支援の観点で、優秀な学生に対し海外留学全額負担の制度を導入することで、在学中の勤勉意欲の向上と学生募集の起爆剤につなげられないか？
- ・今後、外国籍の留学生が増えてくるなら、愛知県の助成金等を活用できる仕組みを研究、調整し、財務的にカバーできないか検討してみても良い。
- ・学生の集客に、外部のコンサルなどを入れても良いのかもと思います。
- ・退学者へ他の科に移動(例：ブライダル→ホテル)が出来ると退学者が減る事はあるのでしょうか。
- ・ホテル業界では、今後さらに語学力が必要になってくるため語学の向上に努めてほしい。
- ・外資系のホテルでは、英語力がなければプロモーションの対象にならないのが現実。
- ・留学生や外国人生徒に「N2」レベルの能力を身につけてもらいたいです。
- ・基準4の学修成果、C.退学率の低減が図られているか、についてご提案させていただきます。
 - ・ Web(アプリ)カウンセリングの導入。
 - ・ 悩みの段階が低いうちに、学生や家族から見た学生の悩みをWebにて問診(カウンセリング)。
 - ・ 問診内容とともにその後スクールカウンセラーと相談(悩みの相談をし易い環境を整えてあげる)。